

# 第50期（2018年3月期） 通期決算説明会

2018年5月24日  
加賀電子株式会社  
証券コード：8154

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

■ 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を四捨五入

比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

1. 業績概況
2. 中期経営計画の進捗
3. 2018年3月期 決算概要

## 本日のサマリー

### 2018年3月期 実績

- **売上高**および営業利益～当期純利益の**全段階利益**で計画過達
- **経常利益**87.4億円は**13期ぶりの最高益更新**
- 前年比で増収増益。当期純利益は前年税効果の特殊要因あり減益

### 2019年3月期 見通し

- 現時点で予想算定困難も、**中計最終年度として数値目標\*達成**を目指す
- \* 中計目標値：売上高2,900億円、経常利益100億円、ROE 8 %以上

### 事業環境認識

- 電子部品事業：EMSビジネス等需要増見込むも部材受給が逼迫
- 情報機器事業：住宅施設向け大口需要は前期で一服

### 株主還元

- 2018年3月期：1株当たり年間配当70円実施、**5期連続で増配**
- 2019年3月期：年間配当70円（中間30円、期末40円）を予定

1. 業績概況

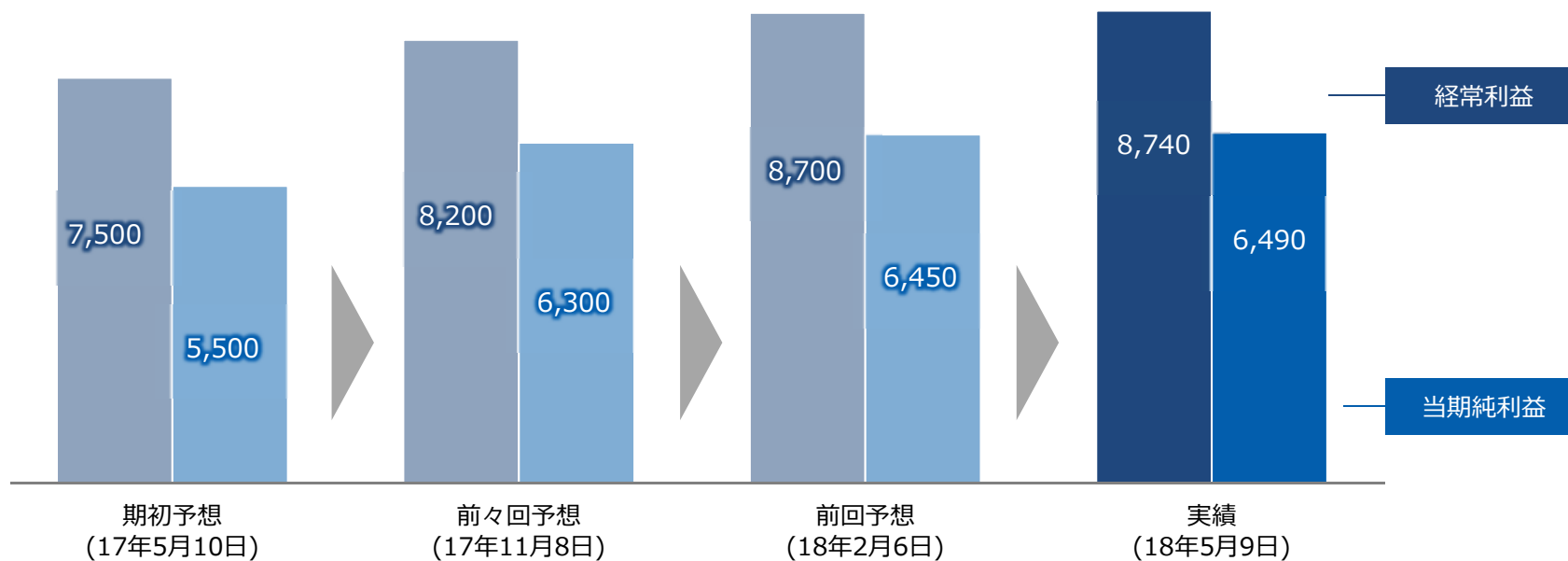
2. 中期経営計画の進捗

3. 2018年3月期 決算概要

# 2018年3月期実績

- **有言実行**：期中2度の上方修正を行い、売上高から当期純利益まで計画を超過達成
- **収益基盤**：遊技機器向けは想定以上に苦戦も、**EMSビジネス/住宅向け/商業施設向け**で挽回
- **利益重視**：期初予想を上回る利益率で着地、当社が目指す“利益重視の経営”に手応え

(単位：百万円)



# 2019年3月期見通し

## 環境認識

- 主力の**電子部品事業は、受注環境良好**
- なかでもEMSビジネスは、海外拠点拡大に伴い新規案件を獲得



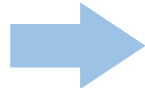
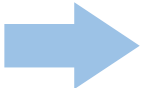
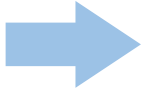
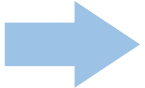


## リスク認識

- **半導体需要増に供給追いつかず、一部部材に需給逼迫**
- 顧客要望の変化による期ズレ（前倒し、後ろ倒し）

## 業績見通し

- 未確定な要素多く、現時点で業績予想は開示せず
- 但し、**中計最終年度として、グループ一丸となって目標達成**を目指す

# 2019年3月期の環境認識と取組み課題

環境認識 ▶ 取組み課題		事業収益の方向性	
		売上高	セグメント利益
電子部品事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>• EMSビジネス、部品販売とも受注は堅調</li> <li>• 半導体の需要増に供給側の増産追いつかず、一部部材の需給逼迫を懸念</li> </ul> <p>▶ 「車載」「空調」「医療」等重点分野の取組み強化</p>		
情報機器事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 家電販売は住宅施設向け大口需要が一服</li> </ul> <p>▶ 大型商業施設、コンビニ向け省エネ商材に注力</p>		
ソフトウェア事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 遊技関連市場向けの需要は引き続き弱含み</li> </ul> <p>▶ VR/ARなど新規分野の取組み加速</p>		
その他事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 修理・サービス・リユース・リサイクルは需要拡大</li> </ul> <p>▶ 修理・リユースなど環境配慮型事業のキャパ増強</p>		



1. 業績概況

2. 中期経営計画の進捗

3. 2018年3月期 決算概要

# 中期経営計画の骨子

## 基本方針

- (1) 収益基盤の強化
- (2) 新規事業の創出
- (3) 経営基盤の強化

## 経営目標 (2019年3月期)

売上高 …………… 2,900億円  
経常利益 …………… 100億円  
ROE …………… 8%以上

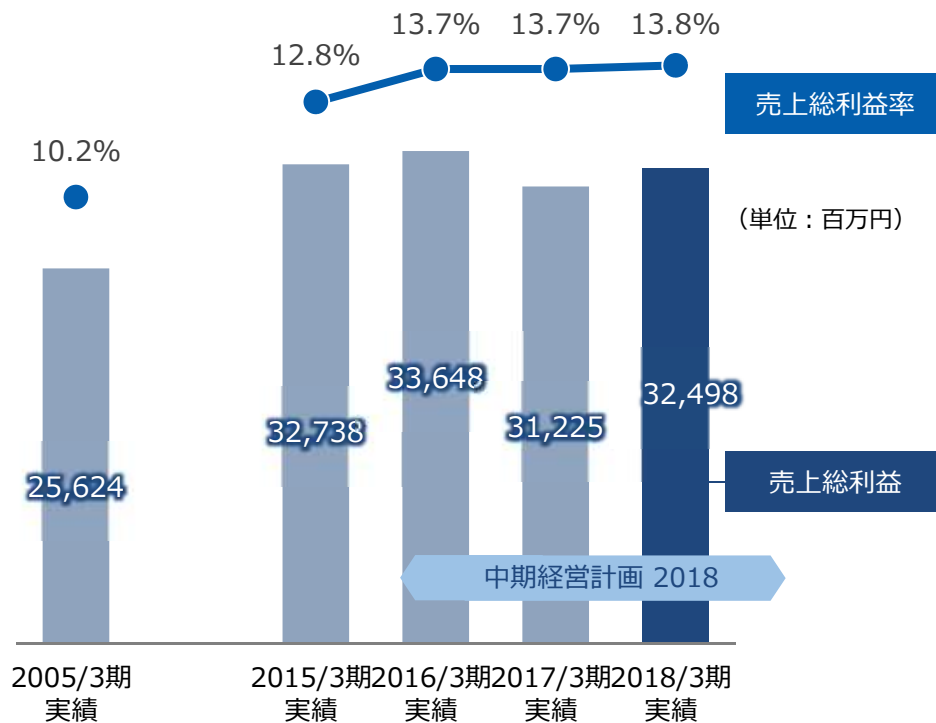
## 中長期ビジョン

- 利益重視経営の確立
- “次世代の加賀電子”として飛躍の準備
- わが国業界No.1の実現、そして  
世界に通用する企業として持続的成長を狙う

# 2018年3月期の総括：収益性の改善

## 売上高総利益率の推移

- 2005年3月期（前回経常最高益）に比べ売上総利益率は3ポイント強改善。
- 中期的には14～15%超を目指す。



## 付加価値向上の施策

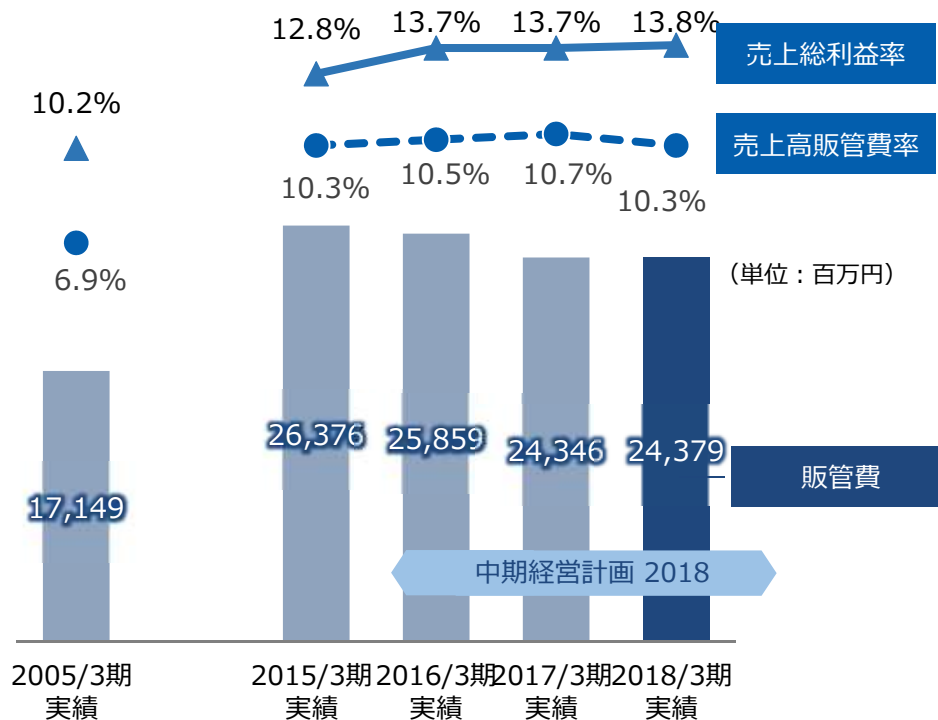
- EMSビジネスの拡大
  - 付加価値型のビジネス拡大による収益性向上
  - 「車載」「産業機器」「医療」など新規分野を積極開拓
- 遊技機器向け構成比の減少
  - 遊技機器関係の法改正により総需要が縮小
- 大型商業施設、コンビニ向けビジネスの拡大
  - 省エネ対応商材の施工など付加価値型ビジネスを展開

“絶対的に儲かる会社”を目指す

# 2018年3月期の総括：収益性の改善

## 売上高販管費率の推移

- 直近3カ年は、額、率ともにコントロール
- 但し、05年3月期に比べて絶対額は増大。  
中期的には10%以下を目指す。



## 構造改革の進捗

- 2016年1月 情報機器事業再編
  - 「加賀ソルネット」「加賀ハイテック」及び「加賀エデュケーショナルマーケティング」を統合
- 2017年10月 基板開発会社の株式譲渡
  - SiC基板を開発する「サイコックス」の株式51%を住友金属鉱山(株)に譲渡、合併会社を設立
- 2018年1月 国内製造子会社再編
  - 「加賀マイクロソリューション」「加賀コンポーネント」を統合

グループ会社の再編統合は概ね完了

# グループ成長戦略“5つのキーワード”の進捗状況

	重点テーマ	主な実績	進捗度 評価
EMSビジネス	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業規模拡大に向けて海外拠点を拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベトナム、メキシコ、トルコに進出</li> <li>インドで受注活動を開始</li> </ul>	◎
車載	<ul style="list-style-type: none"> <li>ADAS、DMSの新技术への対応</li> <li>ハイブリッド車、EVシフトへの対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存分野はTier1向けに好調</li> <li>独IH社製電流センサーを新発売</li> <li>インターネット対応カーナビ用通信モジュールが好調</li> </ul>	○
通信 (IoT)	<ul style="list-style-type: none"> <li>LPWA市場開拓とAIを活用したクラウドビジネスの創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>LPWA市場に向けモジュール・デバイスベンダー及び新規顧客開拓</li> </ul>	○
M&A推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>業界再編を見据えて経営基盤・収益基盤を強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル経営管理基盤強化のため、新基幹システム導入を決定</li> </ul>	○
ベンチャー投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>50億円/3年でベンチャー企業・事業への投資活動を開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>17社/約10億円に出資</li> </ul>	○

## <トピックス-①> EMSビジネスの海外展開について

### 海外拠点の拡充

- 2016年9月 メキシコ拠点設立
  - TAXAN MEXICO S.A. de C.V.  
(2018年1月稼働)
- 2017年7月 ベトナム拠点設立
  - KAGA ELECTRONICS (VIETNAM) CO., LTD.  
(2018年3月稼働)
- 2017年12月 トルコ拠点設立
  - KD TEC Turkey  
(2018年10月稼働予定)

<今後の予定>

- 2018年 インド拠点設立

**グローバル拠点整備 第1フェーズ完了**

### メキシコ拠点の開所式



TAXAN MEXICO S.A. de C.V.

## <トピックス-②> 新基幹業務システムの導入について

### 背景・経緯

- これまではスクラッチ開発の独自システムをオンプレミスで運用
- 更なる将来成長を見据え、“兆円クラス”のオペレーションにも耐える**システム導入**が課題

### 狙い・目的

- EMSビジネス海外展開拡大等に伴う**グローバル経営管理基盤を強化**
- 業務の標準化、効率化など**業務改革によるコスト削減**を推進

### 導入システム

- **「SAP S/4HANA」**を導入、クラウド型のITインフラを構築
- グローバル企業での導入実績、パッケージの完成度の高さを評価

### 今後の日程

- 2018年4月：導入プロジェクトを開始
- 2020年4月：加賀電子本体及び一部国内子会社で運用開始  
(その後、順次国内外のグループ会社に展開)

## <トピックス-③>ベンチャー投資：主な出資先

ベンチャー出資の  
狙い・目的

- 「中期経営計画2018」に掲げる**車載、環境、通信等の重点市場**や**医療・ヘルスケア等の新規事業分野**で広くベンチャー企業を発掘、投資する。
- 新たなイノベーション、当社事業とのシナジーを創出することで、**当社グループの持続的成長**につなげる。

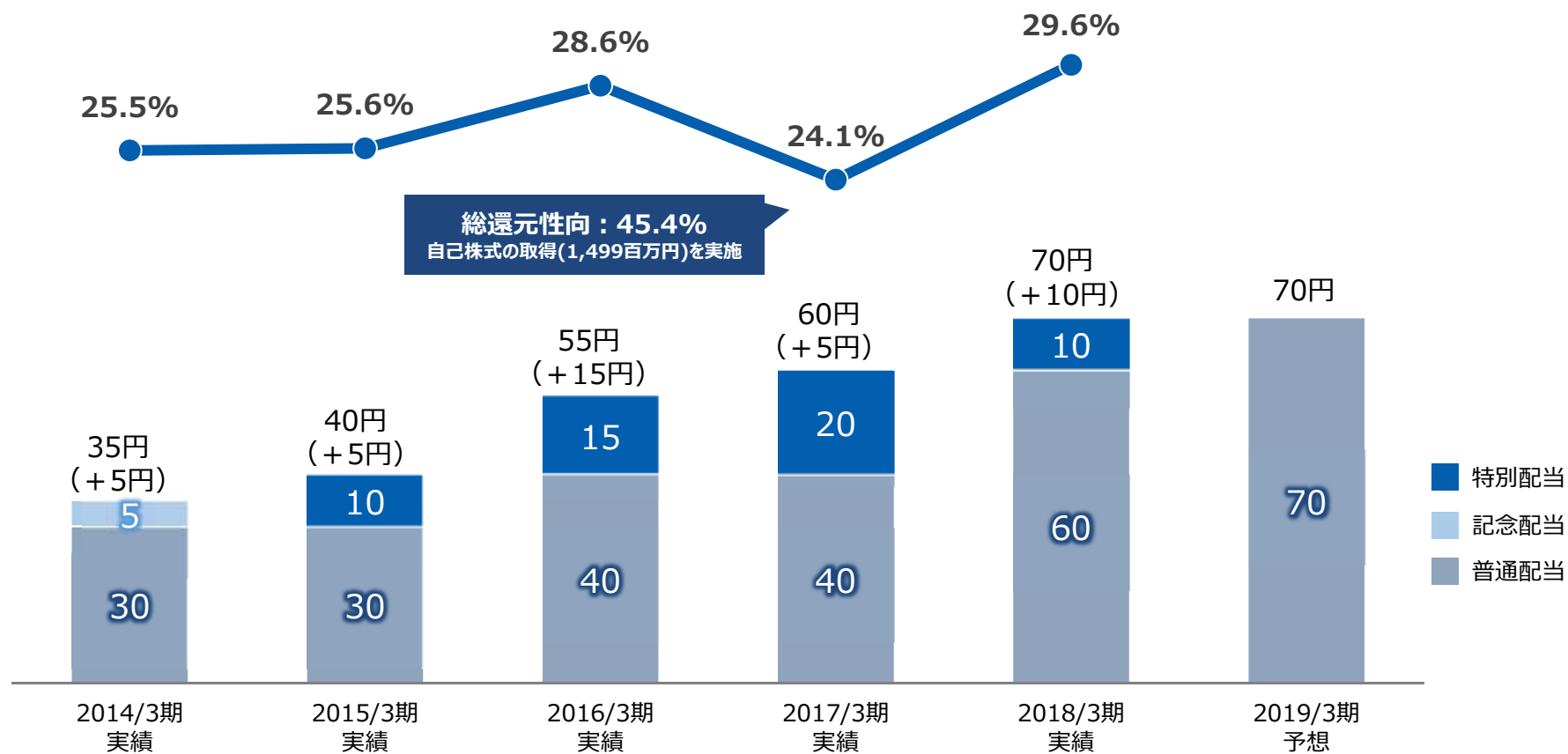
出資先	対象事業領域	事業内容
(株) カドー	環境	・ 空気清浄器、加湿器等の開発、製造、販売
PicoCELA (株)	通信 (IoT)	・ 多段式無線通信技術の開発
(株) ママスクエア	アミューズメント 新規分野	・ 託児機能付きワーキングスペースの運営
(株) スカイロボット	通信 (IoT) 車載 新規分野	・ 産業用ドローン、赤外線カメラモジュールの販売
(株) BONX	通信 (IoT)	・ ウェアラブル・コミュニケーションデバイスの開発、販売



# 株主還元：配当金の推移

## 利益配分に関する 基本方針

- **連結配当性向25～35%**を確保しつつ、**安定的な配当**の実施を目標とする。
- 自己株式の取得は市場環境、資本効率等を鑑みながら、適宜検討する。
- **内部留保**は企業価値向上に資する**事業投資、設備投資、M&A**に活用する。



1. 業績概況

2. 中期経営計画の進捗

3. 2018年3月期 決算概要

## 2018年3月期 業績ハイライト

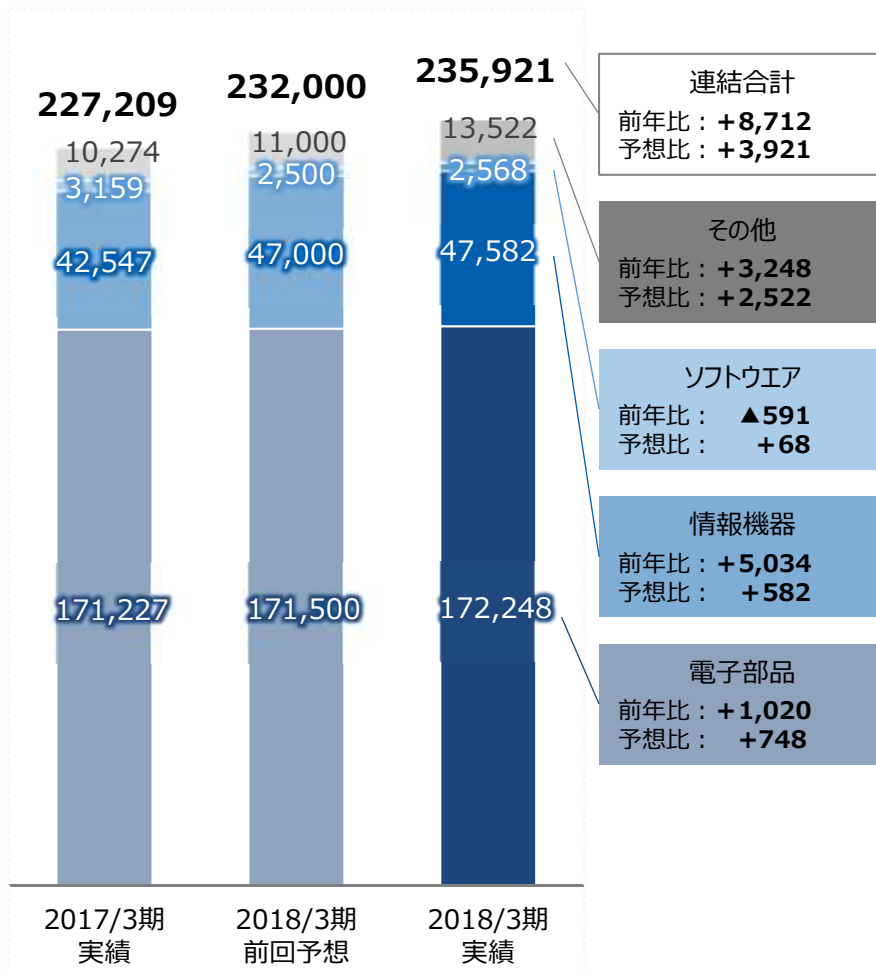
(単位：百万円)

	2017/3期	2018/3期	2018/3期		
	実績	前回予想	実績	前年比	予想比
<b>売上高</b>	227,209	232,000	235,921	8,712	3,921
売上総利益	31,225	32,250	32,498	1,273	248
同利益率 (%)	13.7%	13.9%	13.8%		
販売費及び一般管理費	24,346	24,250	24,379	32	129
<b>営業利益</b>	6,879	8,000	8,119	1,240	119
<b>経常利益</b>	7,343	8,700	8,740	1,397	40
<b>親会社株主に帰属する 当期純利益</b>	6,975	6,450	6,490	▲ 485	40
EPS (1株当たり当期純利益)	249.43	235.10	236.58	▲ 12.85	1.48

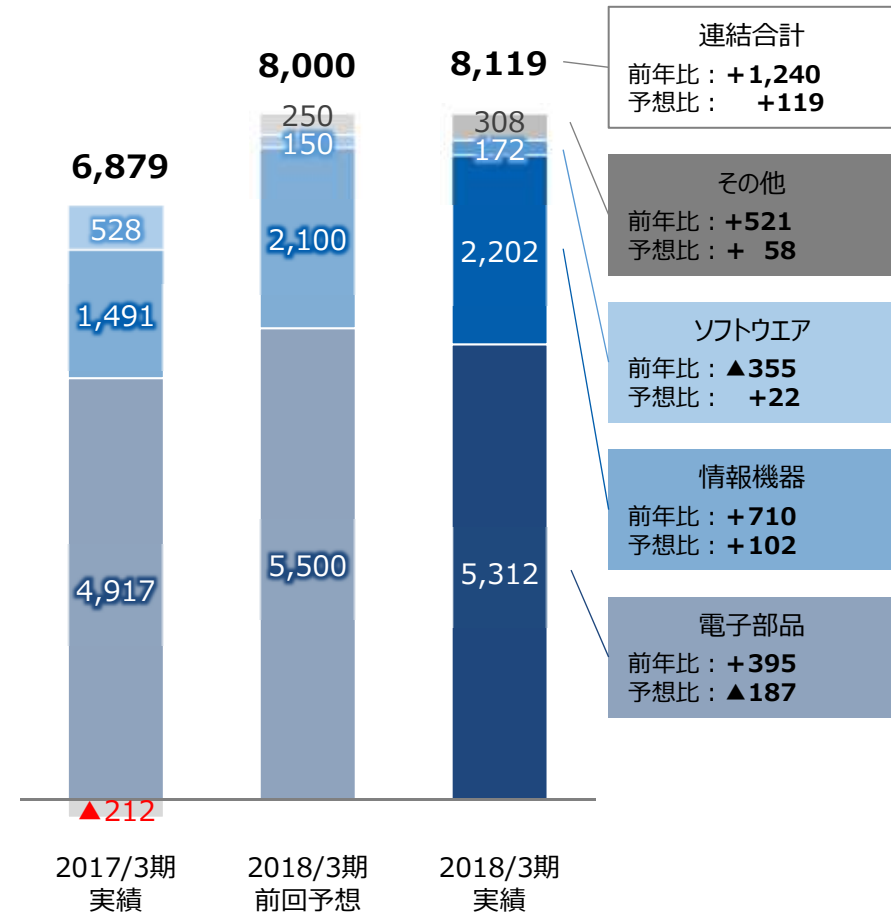
# 2018年3月期 事業部門別業績

(単位：百万円)

## 売上高



## 営業利益 (セグメント利益)

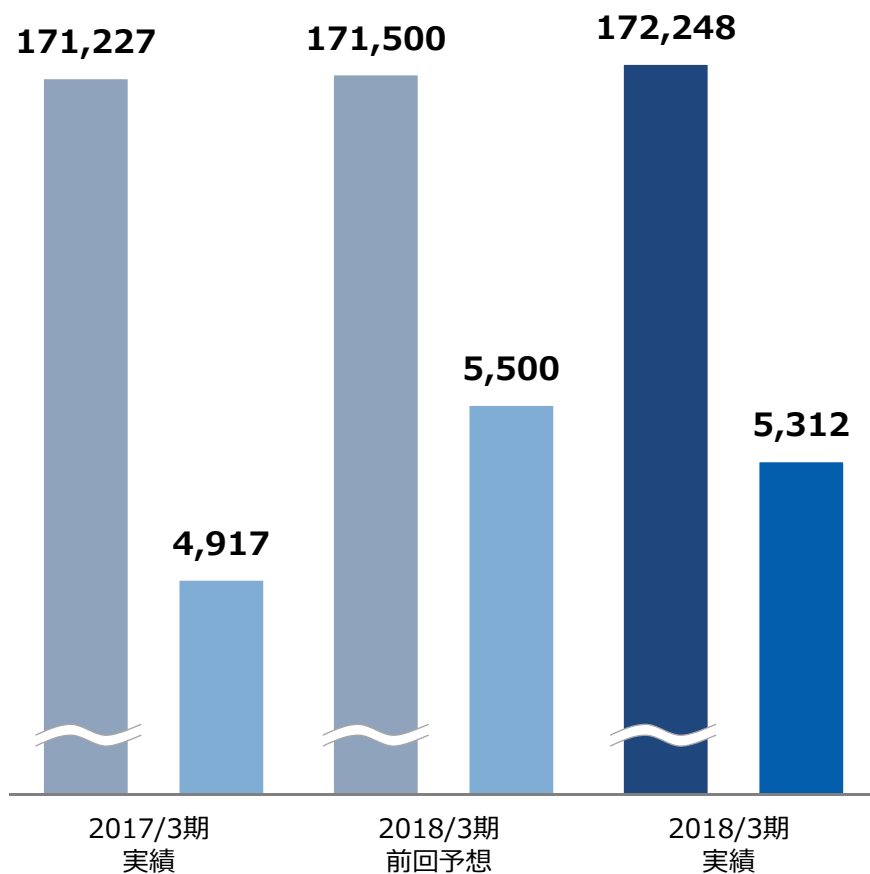


注：セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、連結合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

# 2018年3月期業績：電子部品事業

(単位：百万円)

## 売上高・セグメント利益



## 前年比

- 売上高 ▶ **+1,020**百万円 **0.6%増**
- セグメント利益 ▶ **+395**百万円 **8.0%増**

## 前回予想比

- 売上高 ▶ **+748**百万円 **0.4%増**
- セグメント利益 ▶ **▲187**百万円 **3.4%減**

遊技機器向けは法改正の影響受け低調

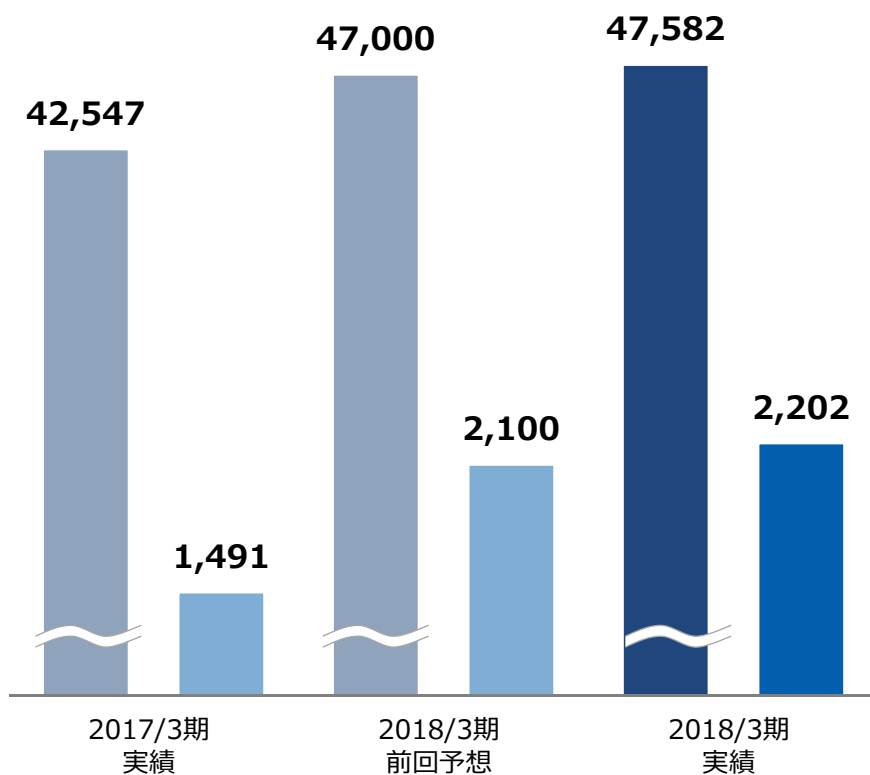
産業機器、医療機器、事務機器向け  
**EMSビジネスが好調**



# 2018年3月期業績：情報機器事業

(単位：百万円)

## 売上高・セグメント利益



## 前年比

- 売上高 ▶ **+5,034**百万円 **11.8%増**
- セグメント利益 ▶ **+710**百万円 **47.7%増**

## 前回予想比

- 売上高 ▶ **+582**百万円 **1.2%増**
- セグメント利益 ▶ **+102**百万円 **4.9%増**

住宅向け、商業施設向け商材が好調

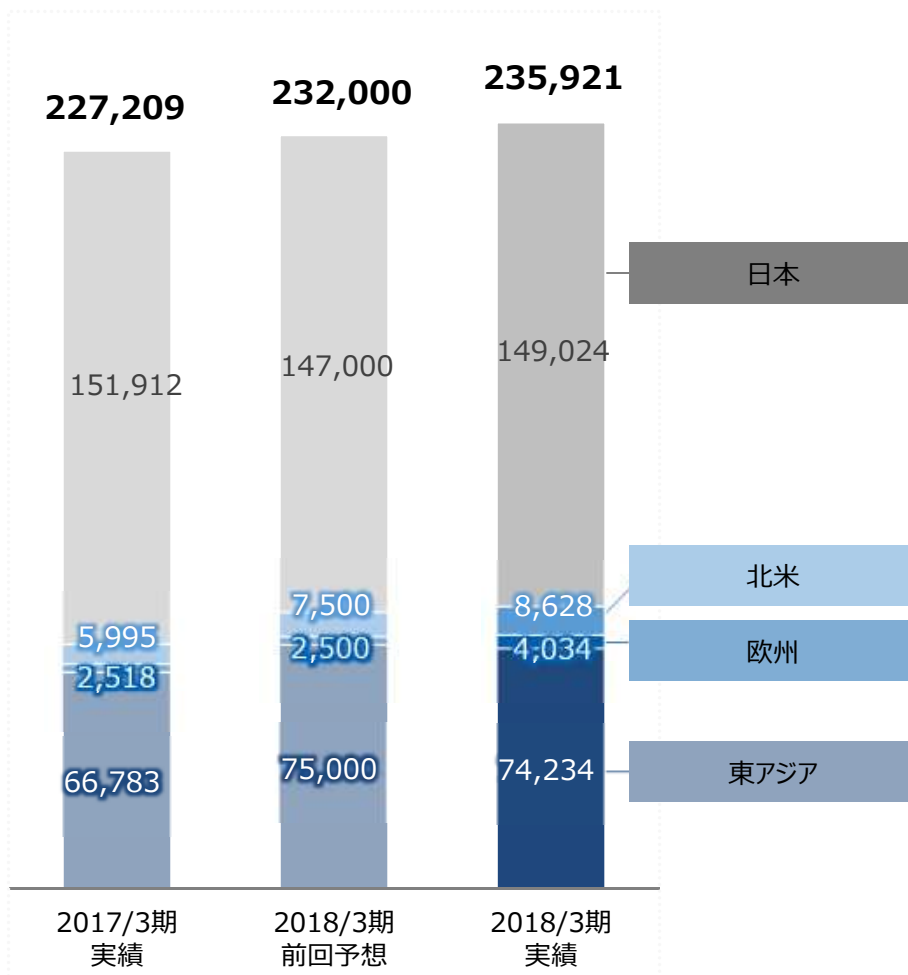
PC販売も市場が厳しい中で健闘



# 2018年3月期業績：地域別売上高

(単位：百万円)

## 売上高



## 前年比

- 日本 ▶ ▲2,887百万円 1.9%減
- 北米 ▶ +2,633百万円 43.9%増
- 欧州 ▶ +1,515百万円 60.2%増
- 東アジア ▶ +7,451百万円 11.2%増

## 前回予想比

- 日本 ▶ +2,024百万円 1.4%増
- 北米 ▶ +1,128百万円 15.1%増
- 欧州 ▶ +1,534百万円 61.4%増
- 東アジア ▶ ▲765百万円 1.0%減

日本は遊技機器市場の低迷により減収

海外は全地域 好調に推移

# 為替レート

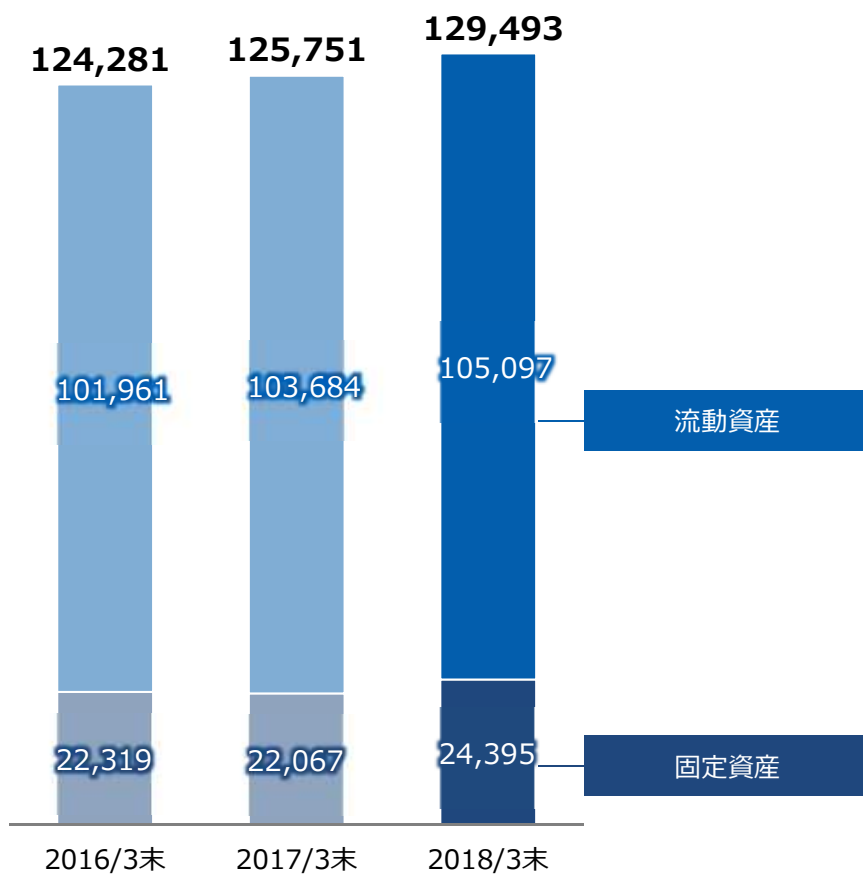
	2017/3期 実績 (円)	2018/3期 実績 (円)	(参考) 1円変動による影響額 (百万円)	
			売上高	経常利益
米国ドル	108.38	110.85	476	24
タイバーツ	3.08	3.36	6,098	343
人民元	16.37	16.63	856	61
香港ドル	13.97	14.20	1,246	37



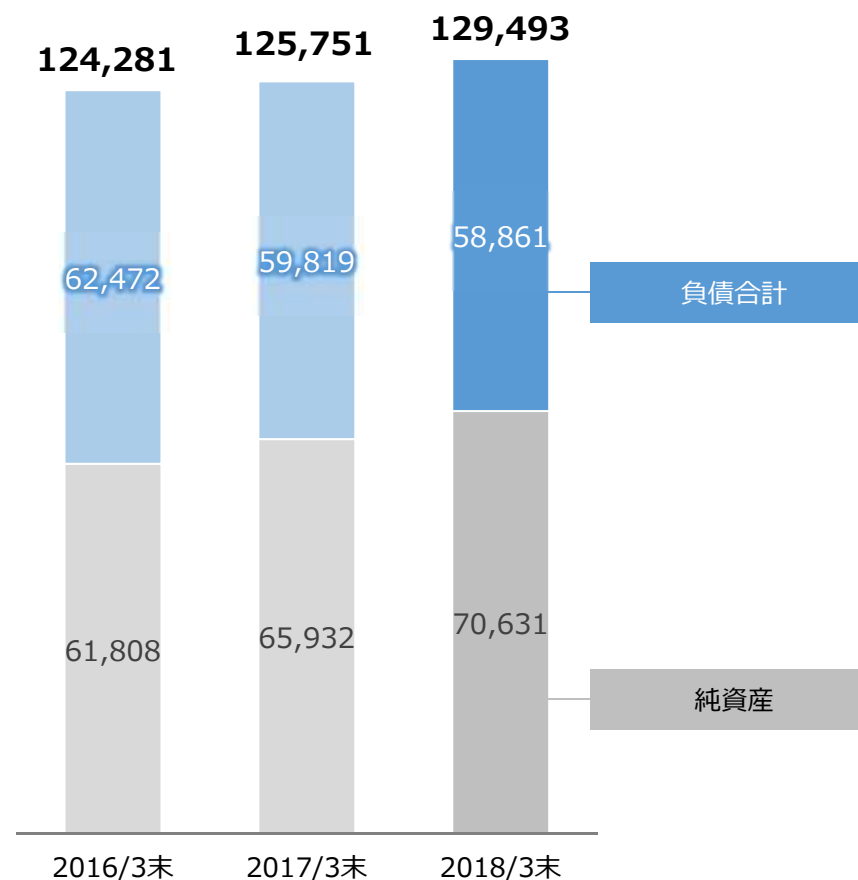
# 財政状態計算書主要項目

(単位：百万円)

## 資産



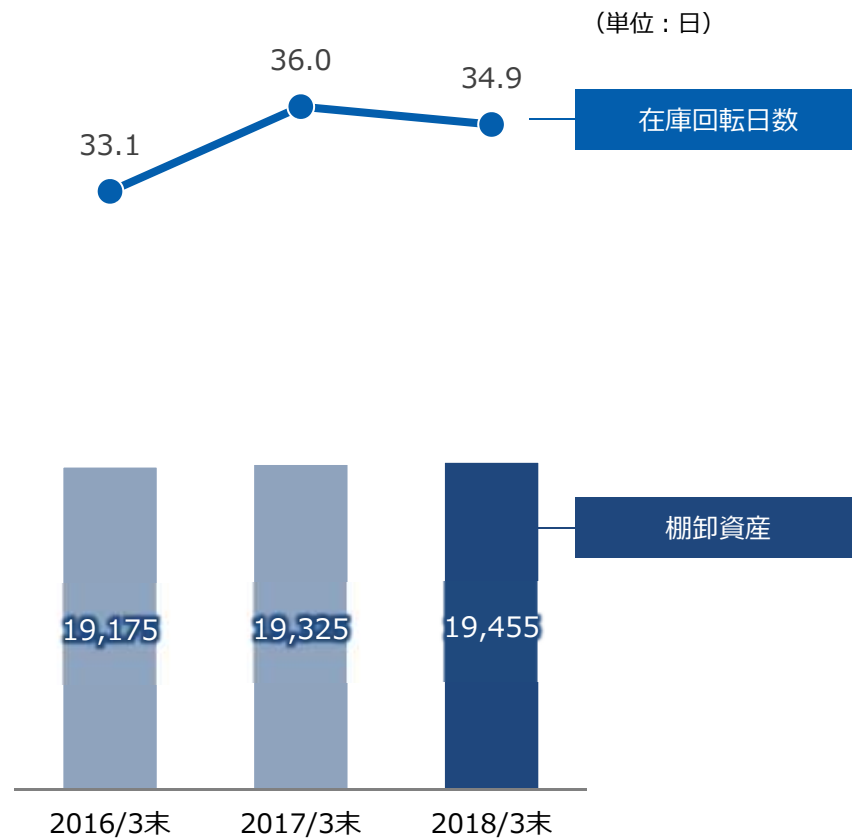
## 負債・純資産



# 財政状態計算書主要項目

(単位：百万円)

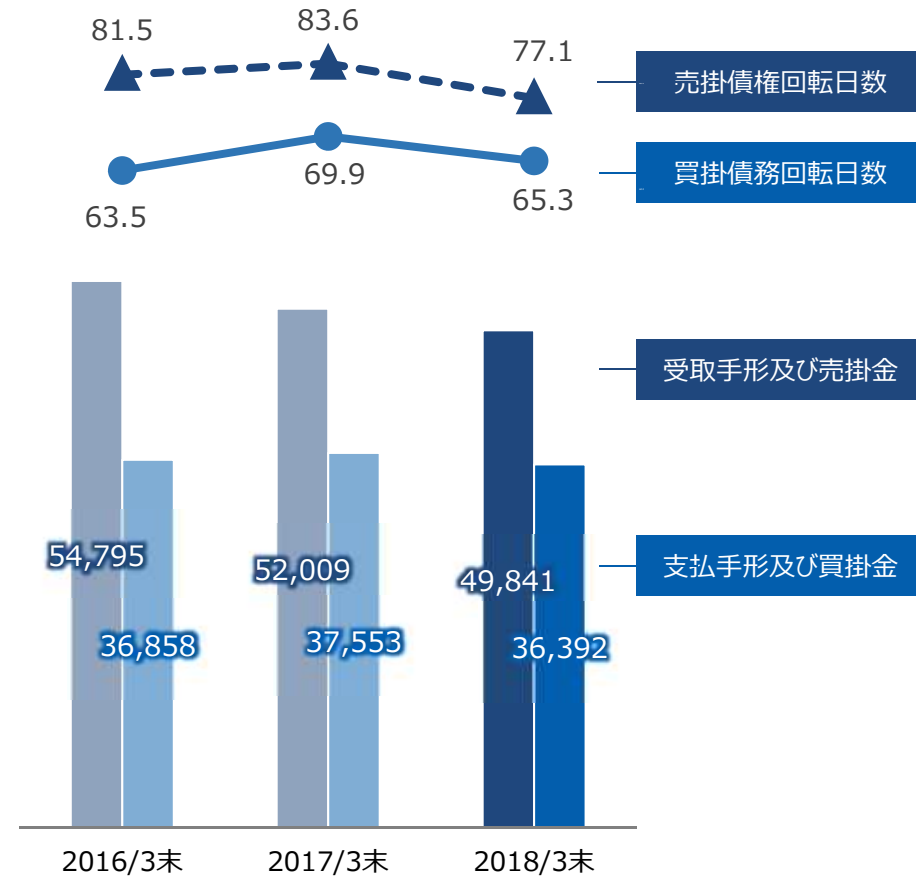
## 棚卸資産



注：在庫回転日数 = 棚卸資産 ÷ 売上原価 × 365 (日)

## 売掛金・買掛金

(単位：日)



注：受取手形及び売掛金については、電子記録債権を含めた金額となっております。

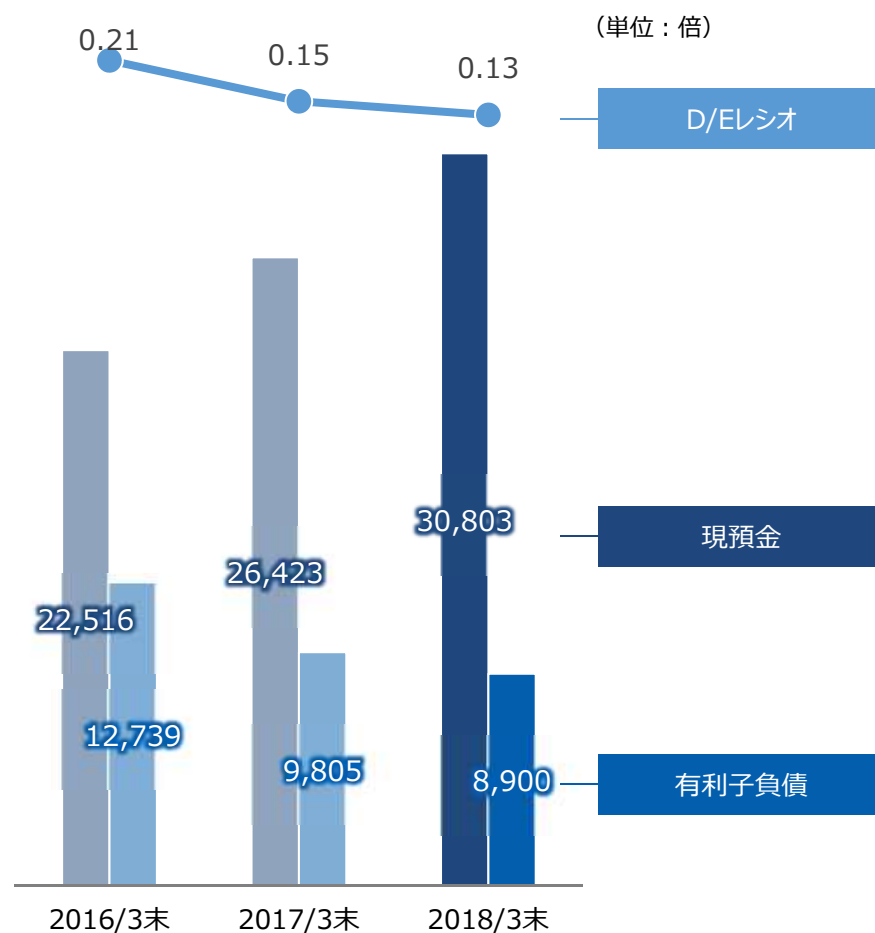
売掛債権回転日数 = 受取手形及び売掛金 ÷ 売上高 × 365 (日)

買掛債権回転日数 = 支払手形及び買掛金 ÷ 売上原価 × 365 (日)

# 現預金・有利子負債/キャッシュフロー

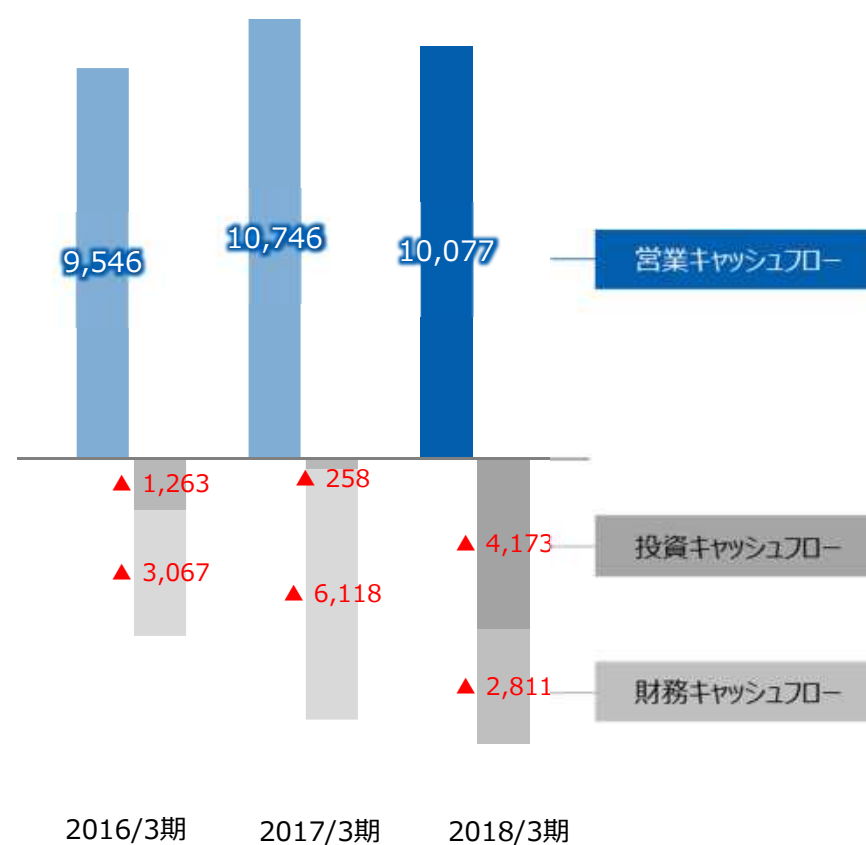
(単位：百万円)

## 現預金・有利子負債



注：D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 自己資本

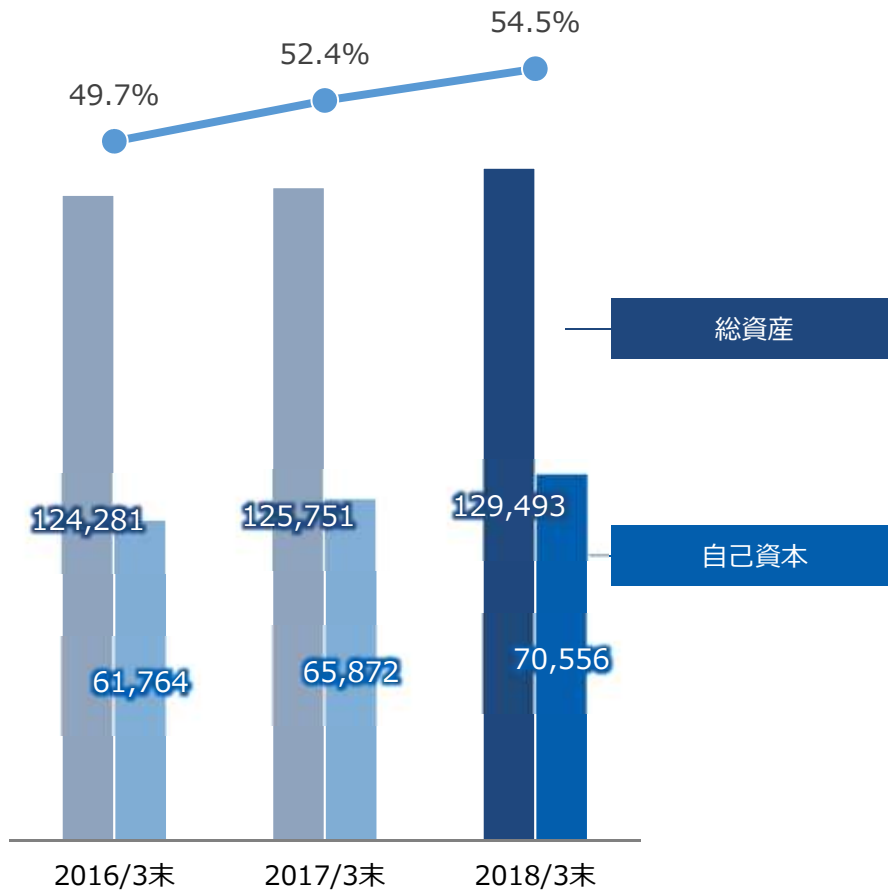
## キャッシュフロー



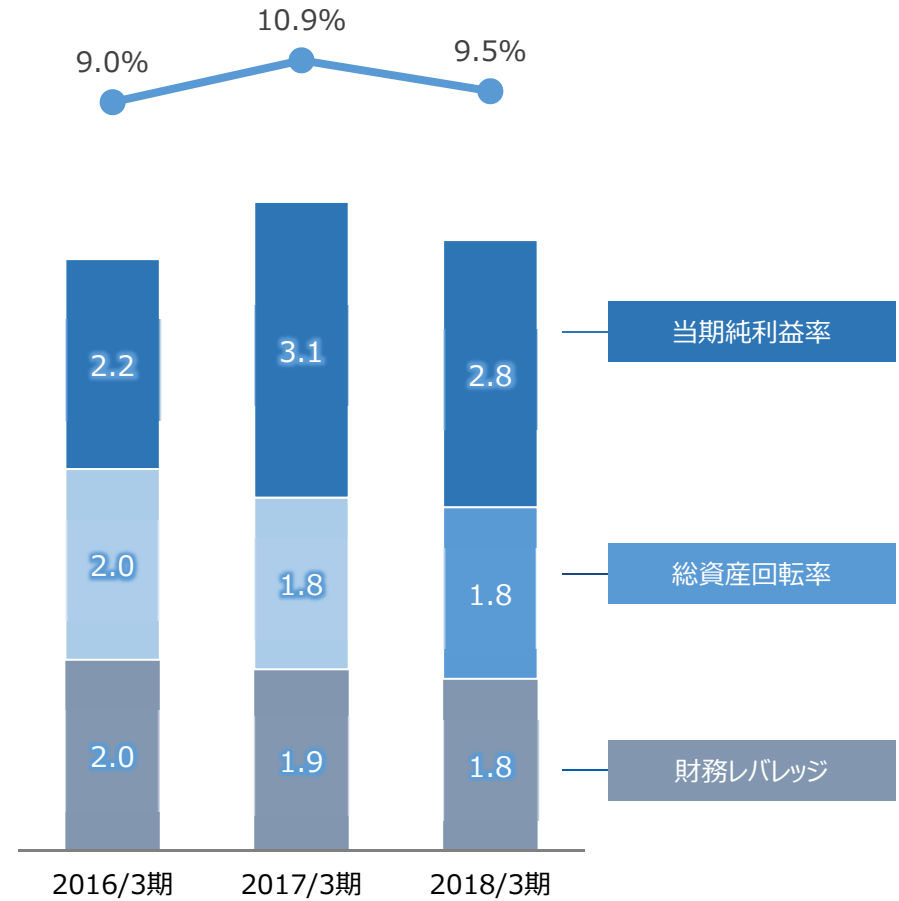
# 経営指標：安定性・効率性

(単位：百万円)

## 自己資本比率



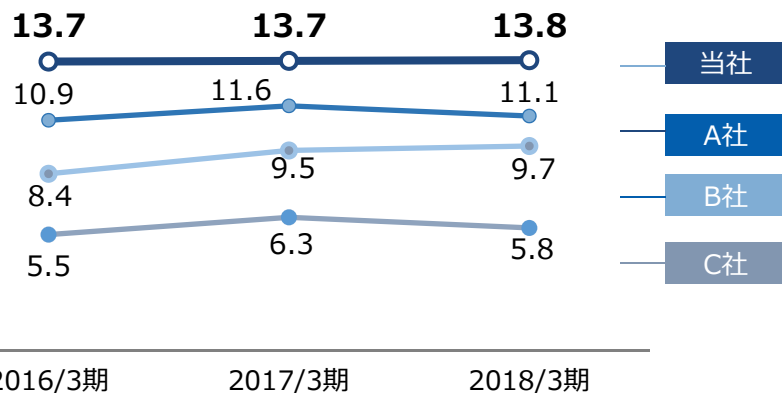
## ROE (自己資本利益率)



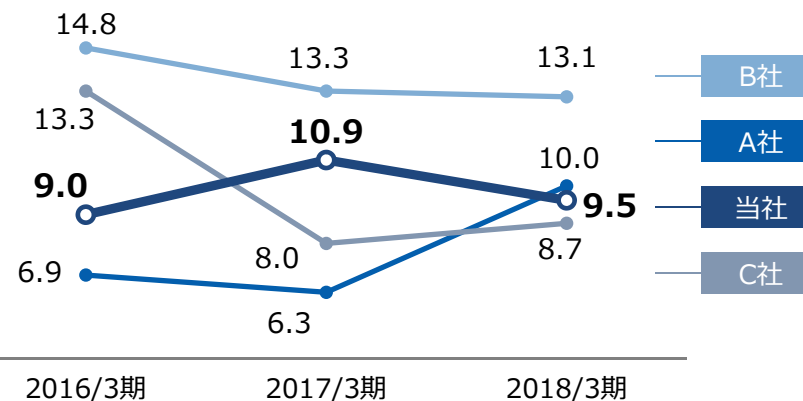
# (参考) 競合他社比較

(単位：%)

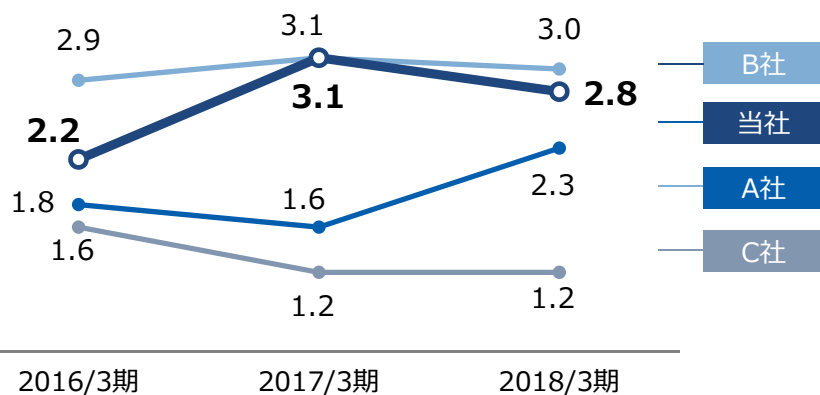
## 売上総利益率



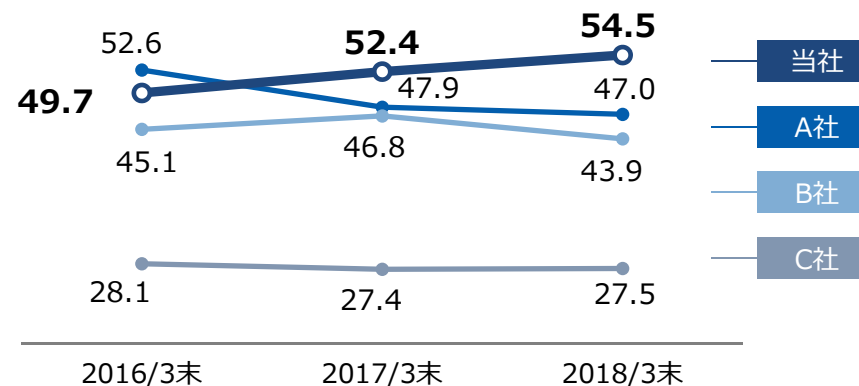
## ROE (自己資本利益率)



## 当期純利益率



## 自己資本比率



## 今後のIR日程

### 短期業績に関して

- 2019年3月期業績見通しに関して、未公表の開示項目については合理的な予想が可能となった時点で速やかに開示
- ▶ 当期**第2四半期決算発表時に公表**の見通し

### 中長期業績に関して

- 当社グループ業績の持続的成長を見据えて、次期中期経営計画の策定に着手
- ▶ **今秋目途に公表**の見通し

## (参考) 事業別取扱商品・サービス

電子部品	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 半導体（汎用品、カスタム品）の販売</li><li>・ 電子部品（トランス、コンデンサ、ケーブル、コネクタ、スイッチ、など）、LED、ストレージデバイスなどの販売</li><li>・ EMS（空調、事務機器、車載、産業機器、遊戯機器、通信機器、医療機器、など）に関わる開発・製造・販売</li></ul>
情報機器	<ul style="list-style-type: none"><li>・ パソコン及びパソコン周辺機器、各種家電製品・照明器具、写真・映像関連商品及びオリジナルブランド商品などの販売</li></ul>
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 各種CG映像制作、アミューズメント関連商品の企画・開発、など</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・ エレクトロニクス機器の修理・サポート、アミューズメント機器の製造・販売、スポーツ用品の卸・小売り、など</li></ul>

## (参考) 用語集

EMS (電子機器受託生産サービス)	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>Electronics Manufacturing Service</b> の略。単純な下請けとは異なり、顧客との契約を基に量産規模でのロット生産業務を担う。</li><li>• 当社は、独自に設計、部材調達、販売、サポートなど製造以外の工程にも入り込み、顧客にワンストップでサービスを提供することを得意としている。</li></ul>
AR (拡張現実)	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>Augmented Reality</b> の略。人が知覚する現実環境をコンピュータにより拡張する技術、およびコンピュータにより拡張された現実環境そのものを指す。</li></ul>
VR (仮想現実)	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>Virtual Reality</b> の略。現物・実物（オリジナル）ではないが機能としての本質は同じであるような環境を、ユーザーの五感を含む感覚を刺激することにより理工学的に作り出す技術。</li></ul>
ADAS (先進運転支援システム)	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>Advanced Driver-Assistance Systems</b> の略。安全でより良い運転を目指して車両システムを自動化・適応・強化するために開発されたシステム。</li></ul>
DMS (運転監視システム)	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>Driver Monitor System</b> の略。ドライバーが安全に安心して運転できる支援システム。センサ、画像処理・信号処理、表示器などから構成される。</li></ul>
LPWA	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>Low Power Wide Area</b> の略。従来よりも電力消費量が低く、一つの基地局で比較的広い範囲での遠距離通信が可能な無線通信技術。</li><li>• IoT（全てのモノがインターネットにつながる）やM2M（デバイス同士がインターネット経由で通信する）に特化した活用ができると期待されている。</li></ul>



# <memo>

.....

.....

.....

.....

.....

.....

# <memo>

.....

.....

.....

.....

.....

.....

# <memo>

.....

.....

.....

.....

.....

.....

# <memo>

---

---

---

---

---

---

---

---

# <memo>

.....

.....

.....

.....

.....

.....

# <memo>

---

---

---

---

---

---

---

---

# 『すべてはお客様のために』



問合せ先：IR・広報室

〒101-8629 東京都千代田区神田松永町20番地

TEL:03-5657-0106

FAX:03-3254-7133

E-mail : [webmaster@taxan.co.jp](mailto:webmaster@taxan.co.jp)

<https://www.taxan.co.jp>